

2024年度 卒業時アンケート集計結果

理学部

目次

1. 理学部 数物情報科学科..... 2
2. 理学部 化学生命科学科..... 9

＜2024 年度回答率＞ アンケート実施期間：2025 年 1 月 31 日(金) 00:00 ～2025 年 2 月 14 日(金) 23:59
(住居学科、家政経済学科、社会福祉学科、心理学科は別途期間に実施)

学部	学科	専攻	4年次在籍者数	回答数	回答率
家政	児童		93	40	43.0%
	食物 ¹	食物学	30	4	13.3%
		管理栄養士	52	8	15.4%
	住居	居住環境デザイン	110	76	69.1%
		建築デザイン			
	被服		96	79	82.3%
	家政経済		85	80	94.1%
	計		466	287	61.6%
文	日本文		131	52	39.7%
	英文		167	67	40.1%
	史		99	82	82.8%
	計		397	201	50.6%
人間社会	現代社会		122	28	23.0%
	社会福祉		107	80	74.8%
	教育		93	41	44.1%
	心理		80	75	93.8%
	文化		128	57	44.5%
	計		530	281	53.0%
理	数物情報科		97	63	64.9%
	化学生命科		110	79	71.8%
	計		207	142	68.6%
学部合計（通学課程全体）			1600	911	56.9%

¹ 食物学専攻と管理栄養士専攻で DP が異なるため、専攻ごとにアンケートを実施した。

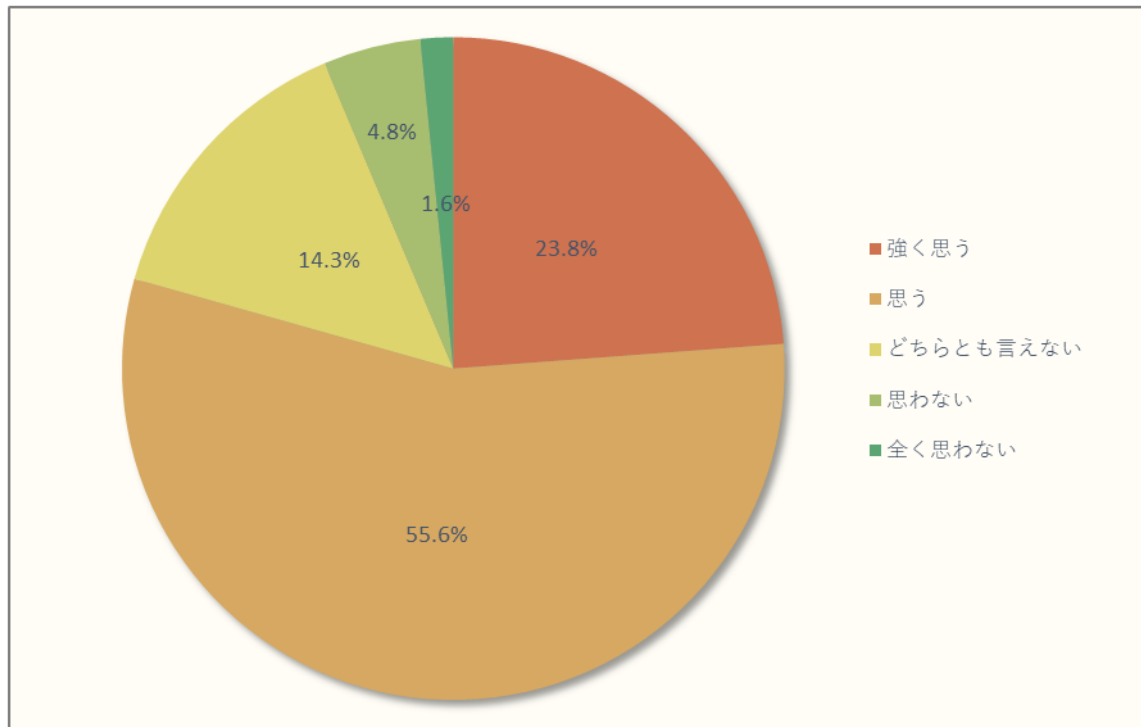
2024 年度卒業時アンケート調査（数物情報科学科）

アンケート実施期間：2025/01/31(金) 00:00 ～2025/02/14(金) 23:59

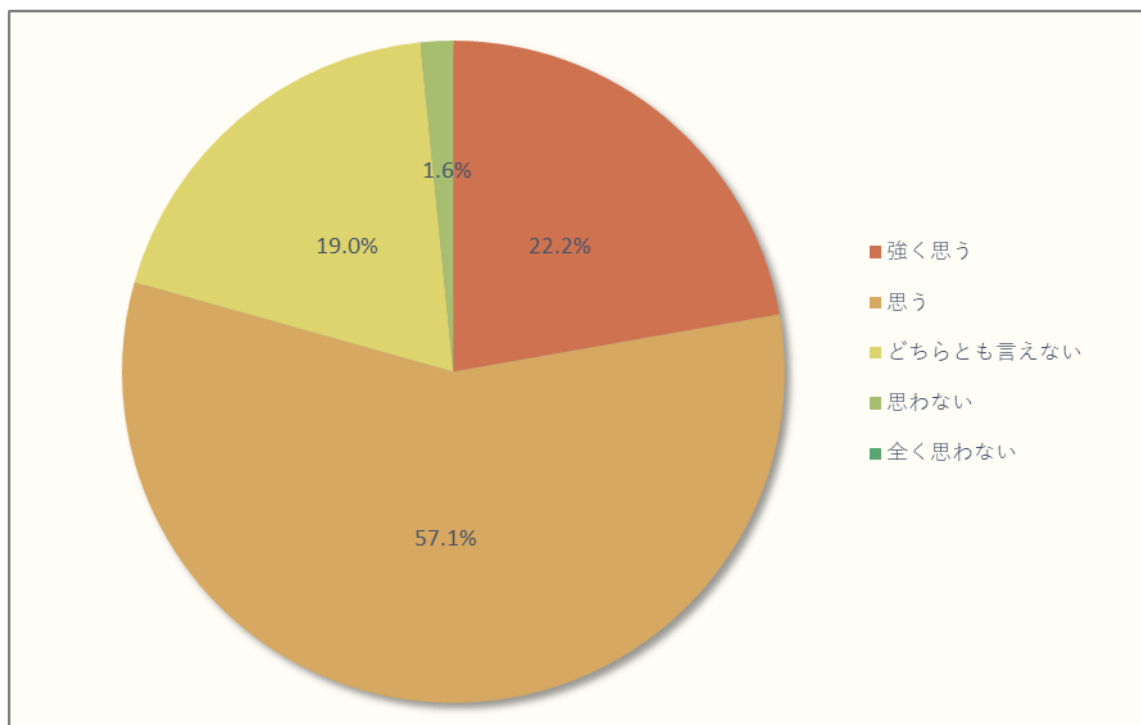
対象者数：97 名 回答者数：63 名 回答率：64.9%

数物情報科学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？ [数物情報科学科DP]

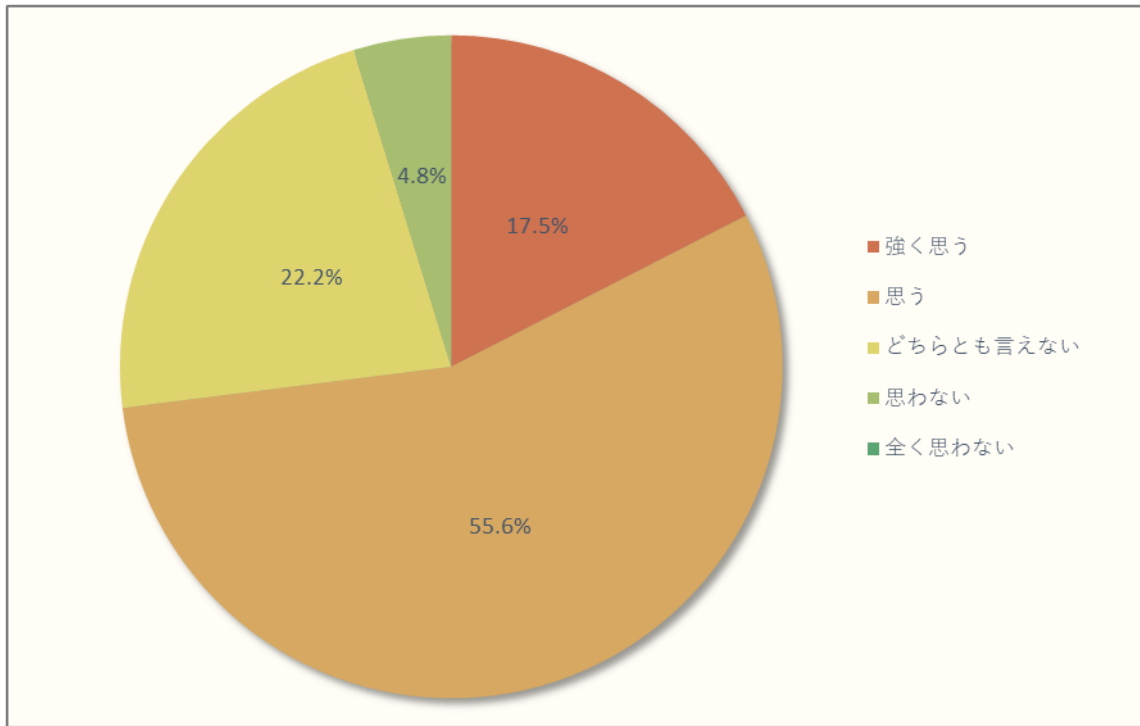
1. 数学、物理学および情報科学の基礎を理解している。なお、ここでの基礎とは、これら 3 分野に共通してよく使われる事項とする。【大学 DP1】



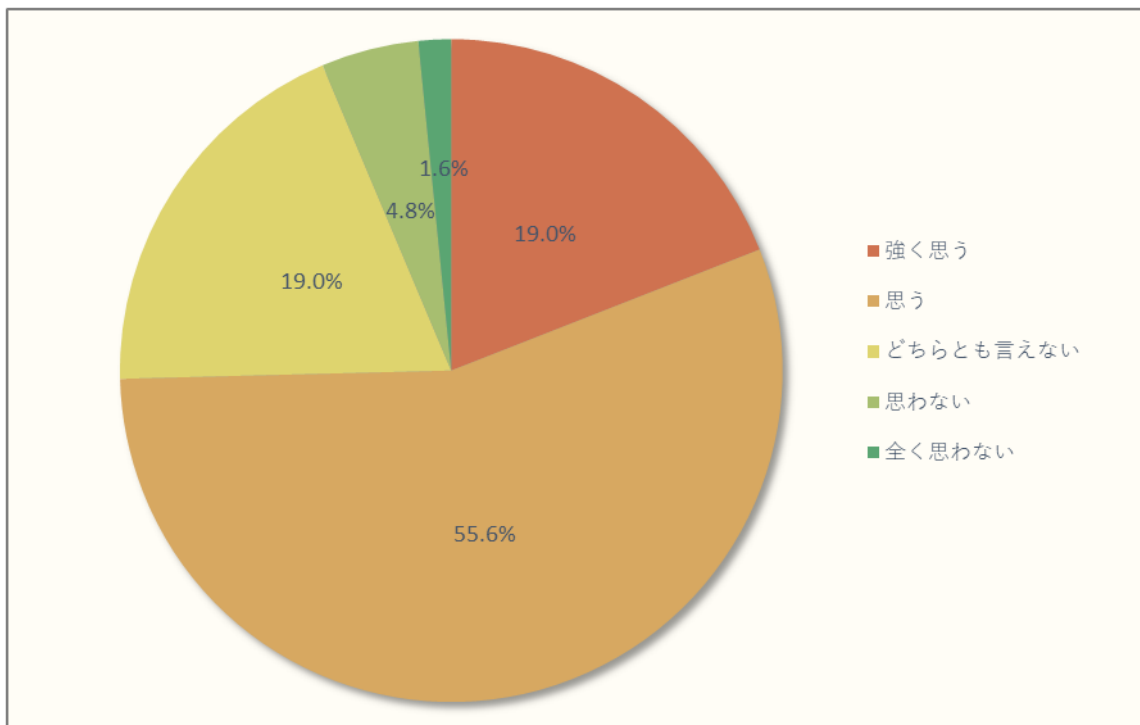
2. 数学、物理学、または情報科学の専門的な知識を持ち、それに基づいて現象や事象を理解できる。【大学 DP1・2】



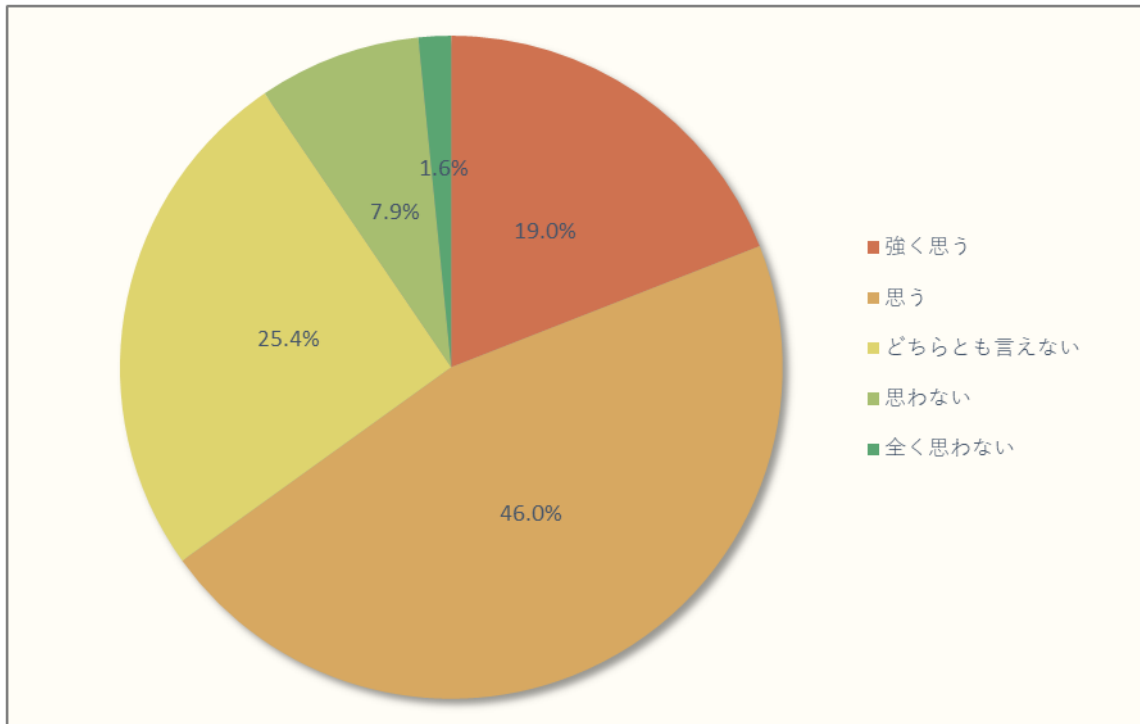
3. 数学、物理学、情報科学、またはそれらの融合分野について、他者とコミュニケーションをとり、学問上および現代社会の課題の解決に向けて協働することができる。【大学 DP3】



4. 数学、物理学、情報科学、またはそれらの融合分野において課題を設定し、専門的な知識に基づき、自らの意見や考えを論理的に伝えることができる。【大学 DP2・5】

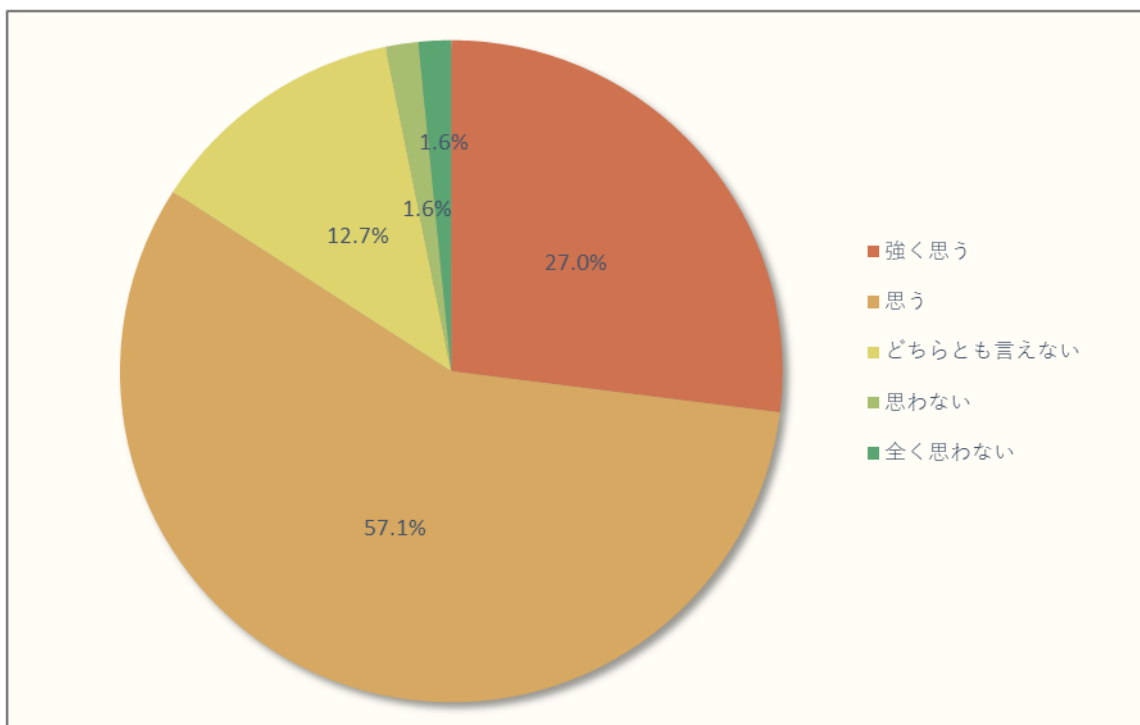


5. 数学、物理学、情報科学を中心におきつつ、分野の境界を超えて広く理学の分野を概括的に理解している。【大学 DP1・4】

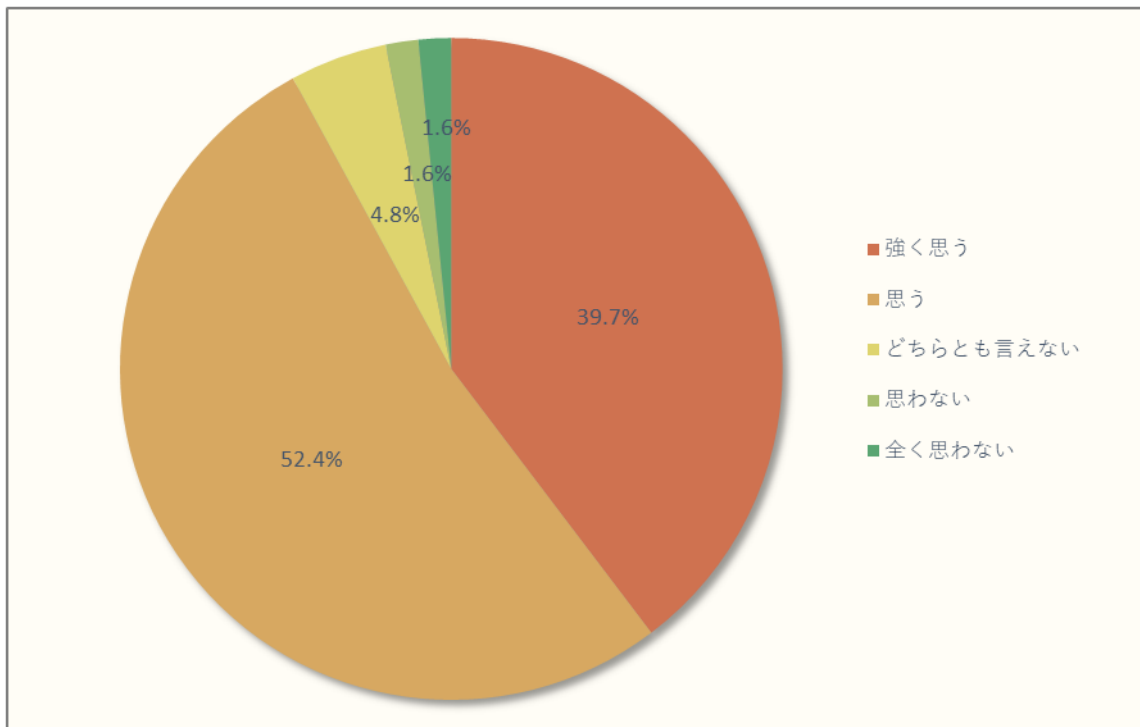


本学の学生として以下のことが身についたと思いますか？ 【教養特別講義DP】

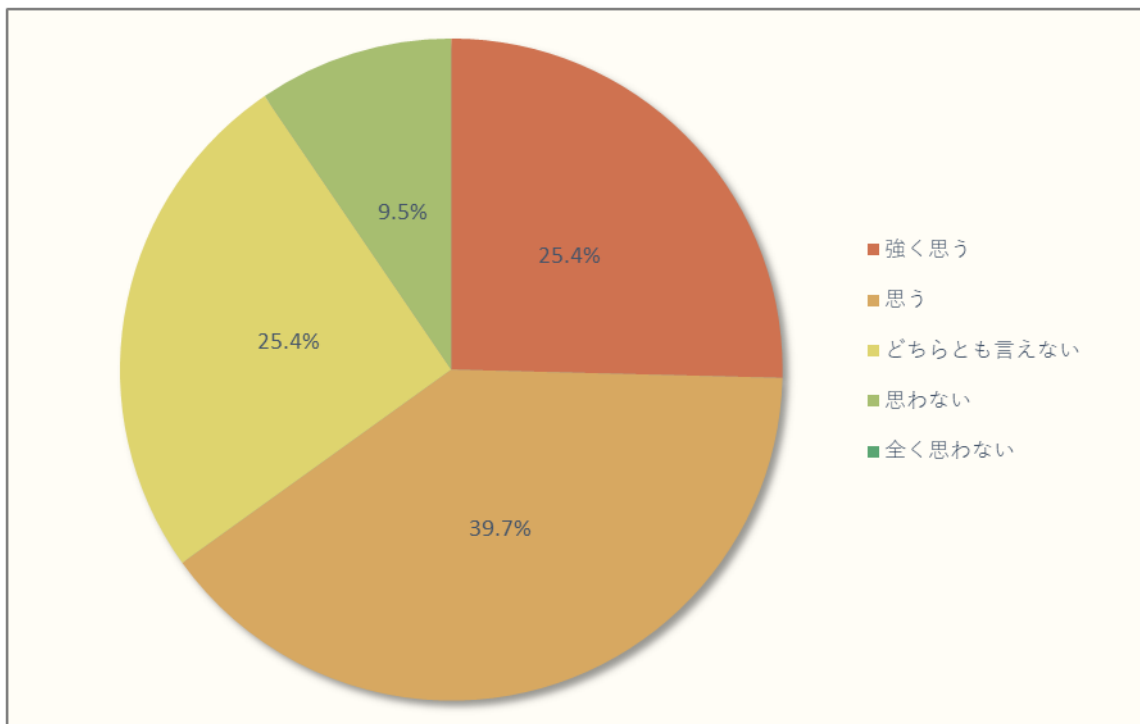
6. 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。【大学 DP3・DP5】



7. 本学卒業にあたっての満足度について伺います。
日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

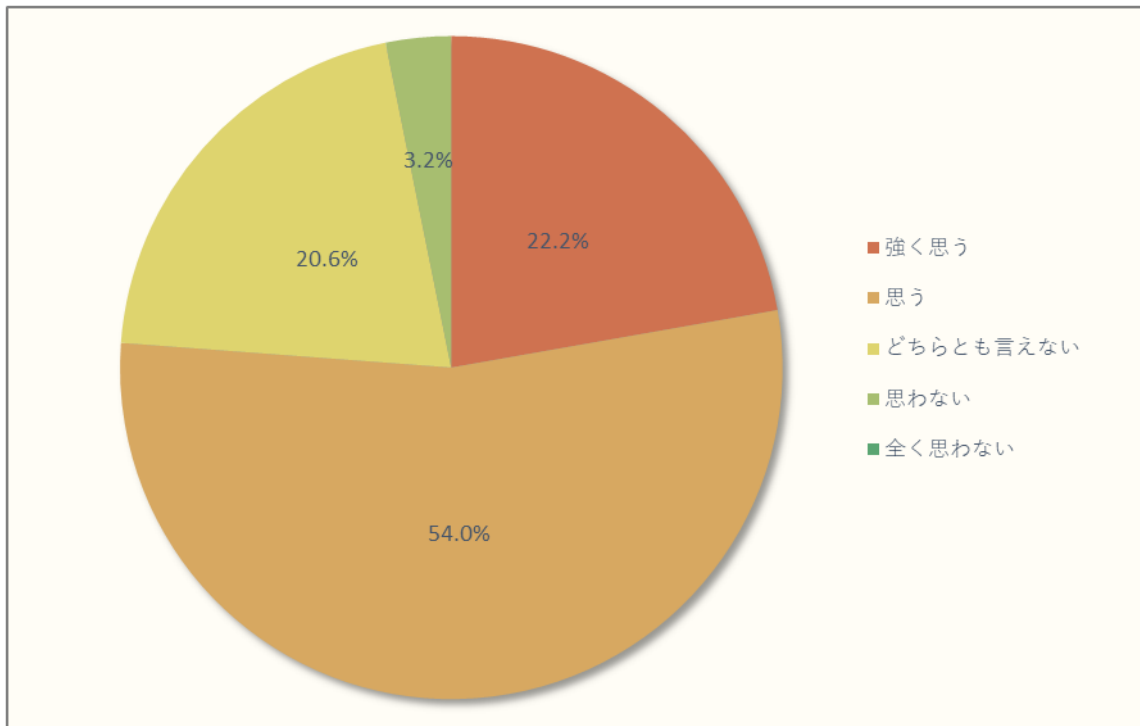


8. 本学の施設設備に対する満足度について伺います。
日本女子大学の施設設備に満足していますか？

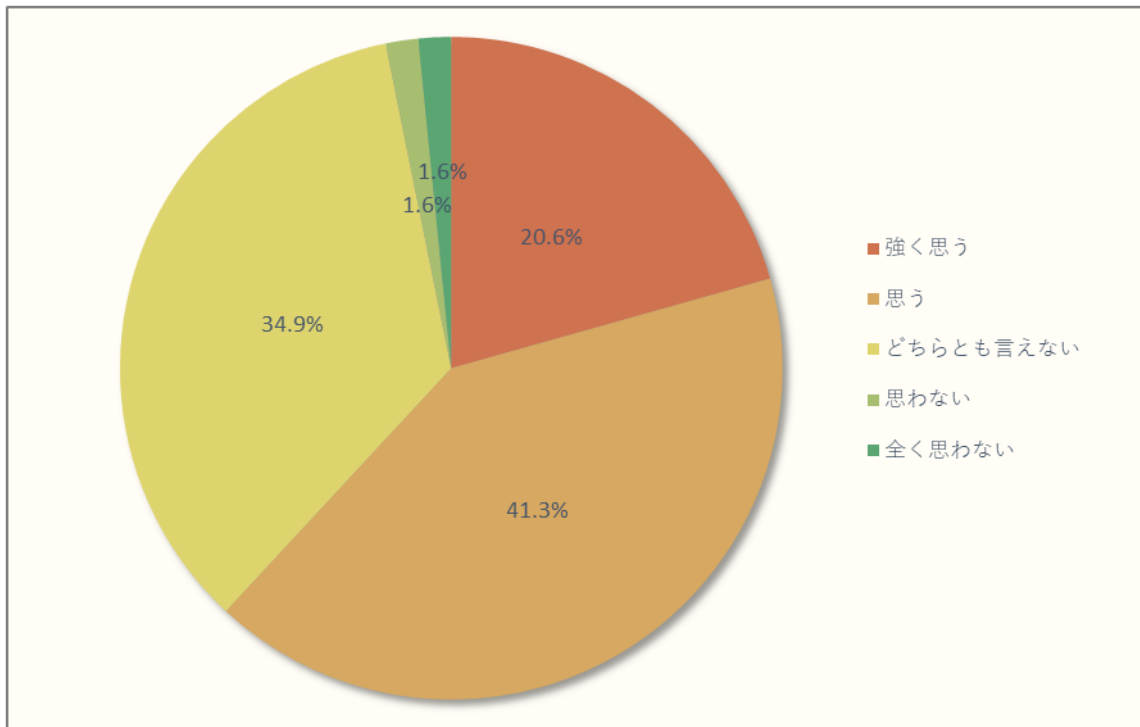


9. 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

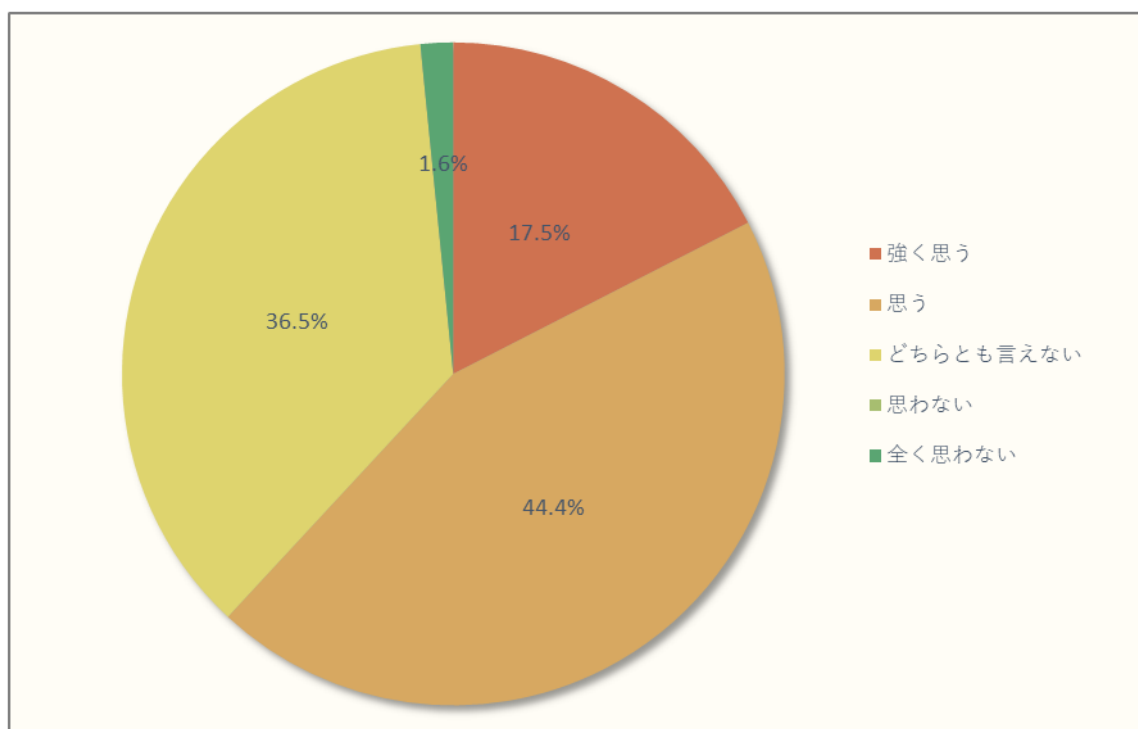
①-1. 学生生活に関する大学の修学支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



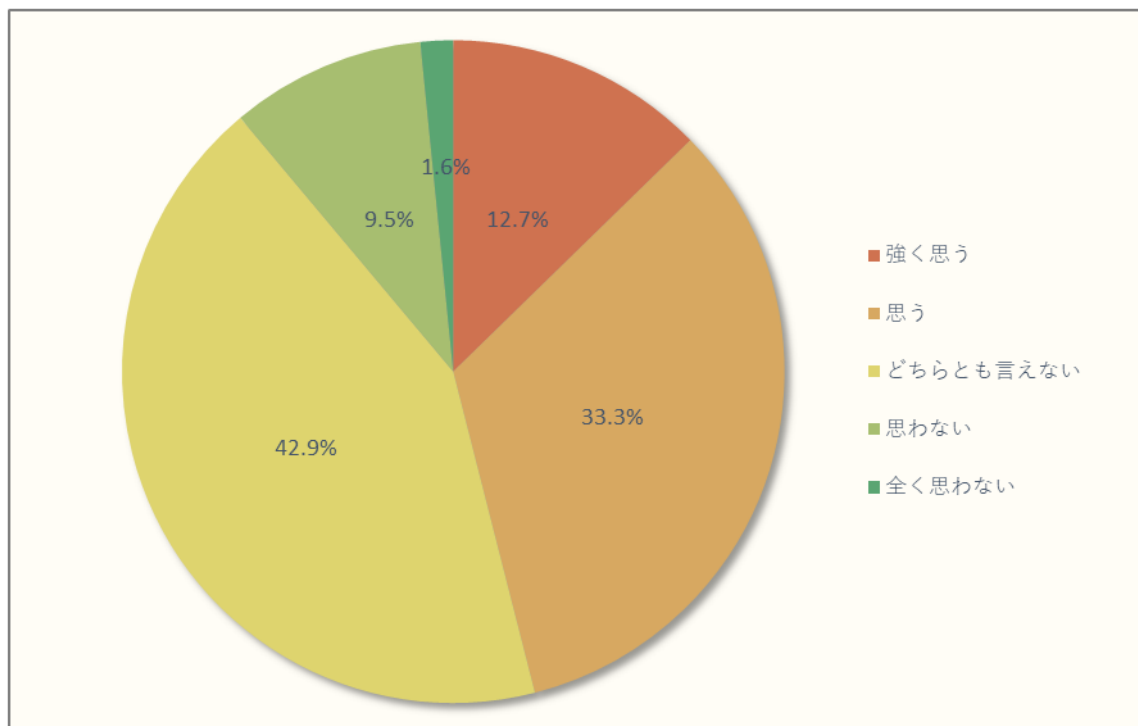
②-1. 学生生活に関する大学のキャリア支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



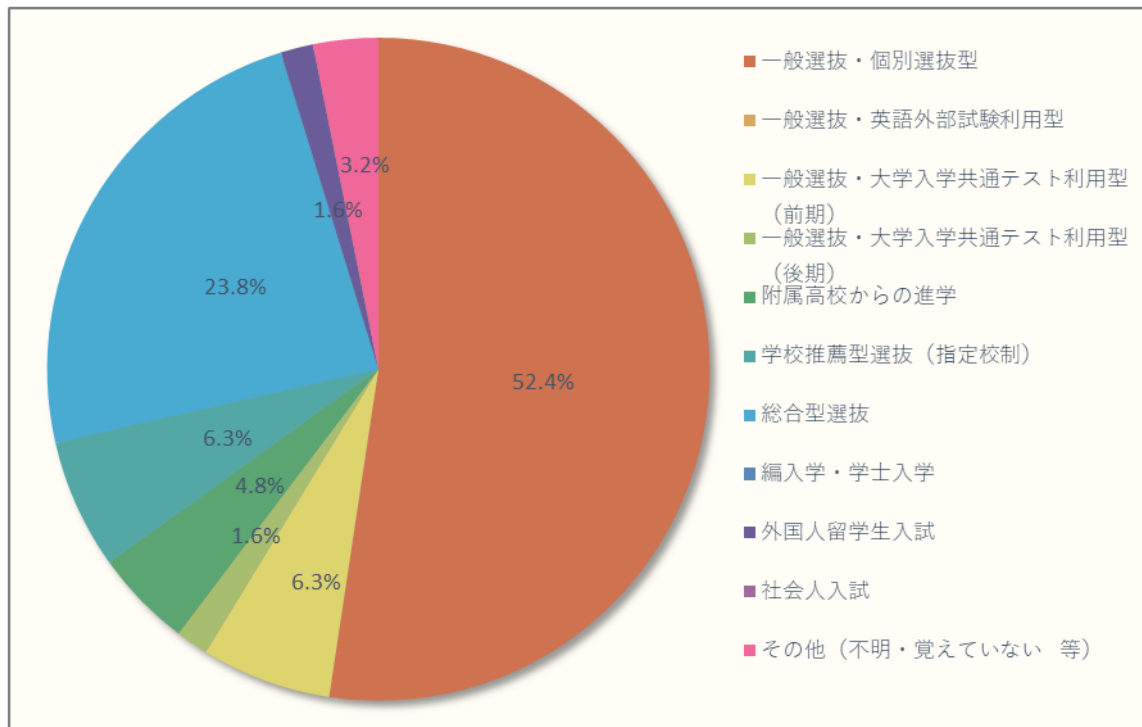
③-1. 学生生活に関する大学の生活支援（心身の健康相談等）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



④-1. 学生生活に関する大学の課外活動支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



10. あなたが入学手続きをした入試形態を一つ選択してください。



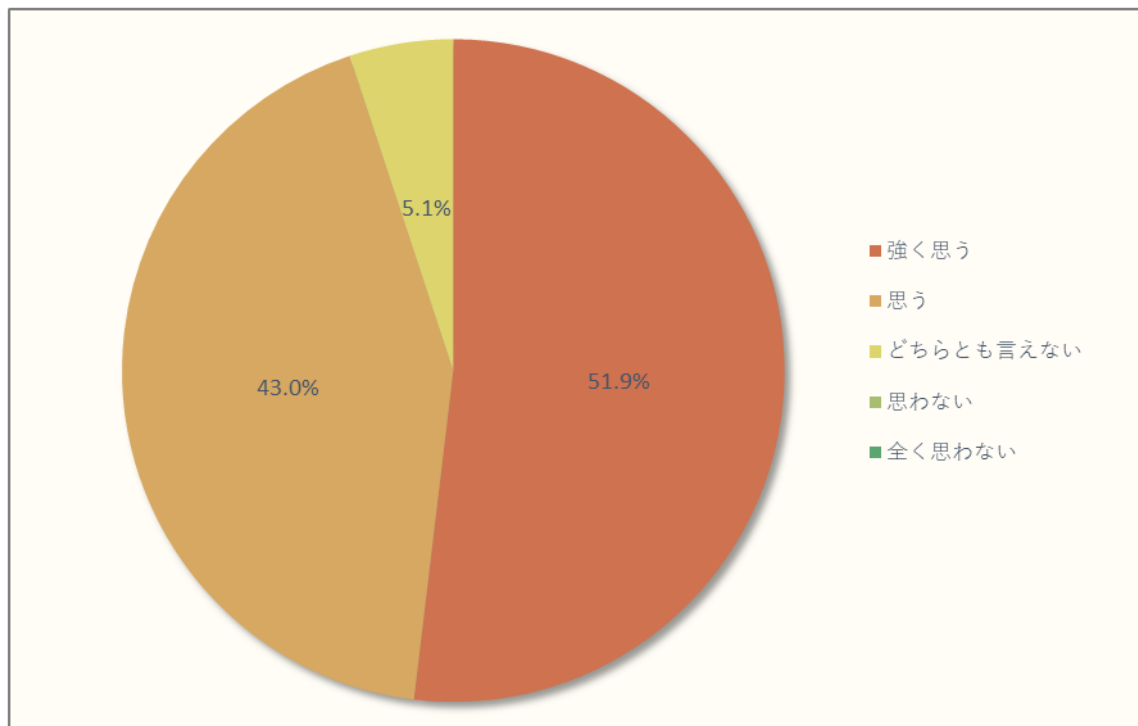
2024 年度卒業時アンケート調査（化学生命科学科）

アンケート実施期間：2025/01/31(金) 00:00 ～2025/02/14(金) 23:59

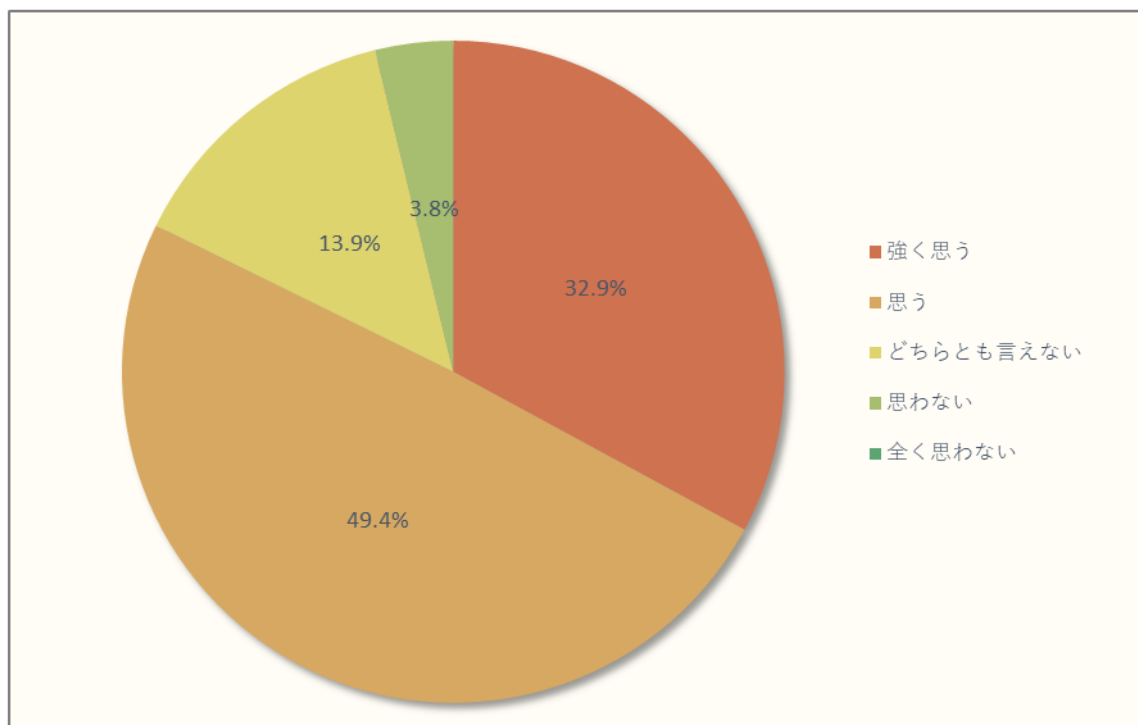
対象者数：110 名 回答者数：79 名 回答率：71.8%

化学生命科学科の学生として以下のことが身についたと思いますか？ [化学生命科学科DP]

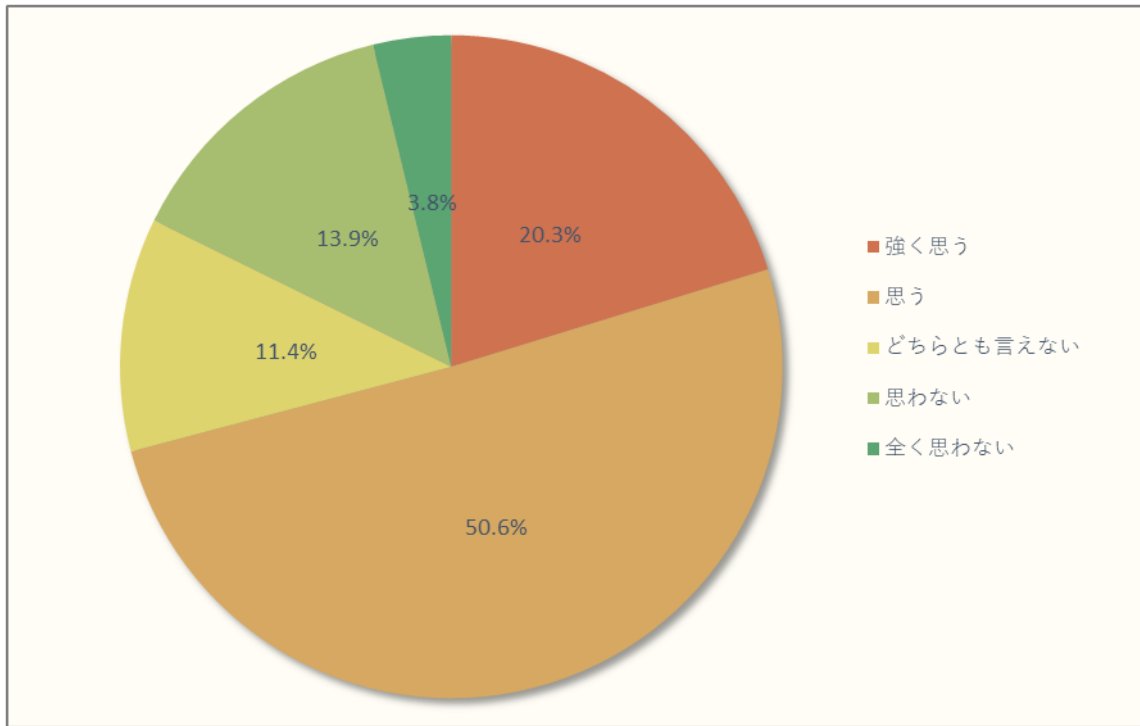
1. 化学と生物学を主とした自然科学系分野における基礎的な知識を持ち、基礎的な実験を行うことができる。【大学 DP1・2】



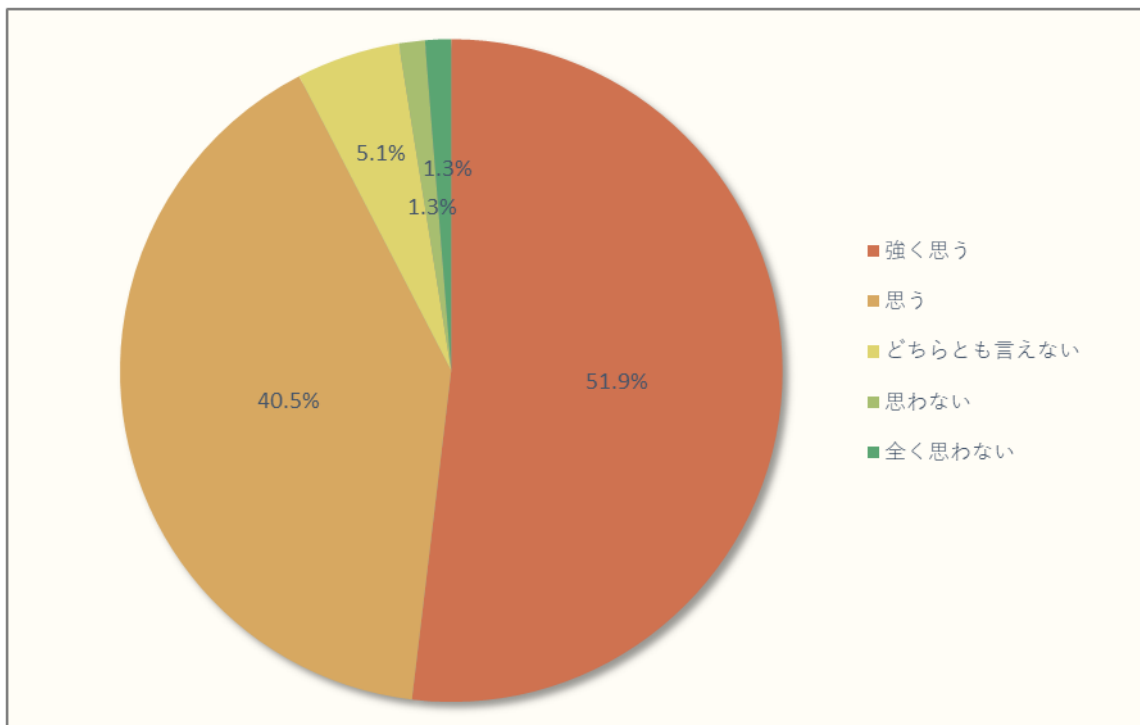
2. 化学か生物学、または複合領域のいずれかを専門とする科学分野において、専門的な知識を持ち、対象物に関する原理や理論を理解し、それらを論理的に説明することができる。【大学 DP1・2】



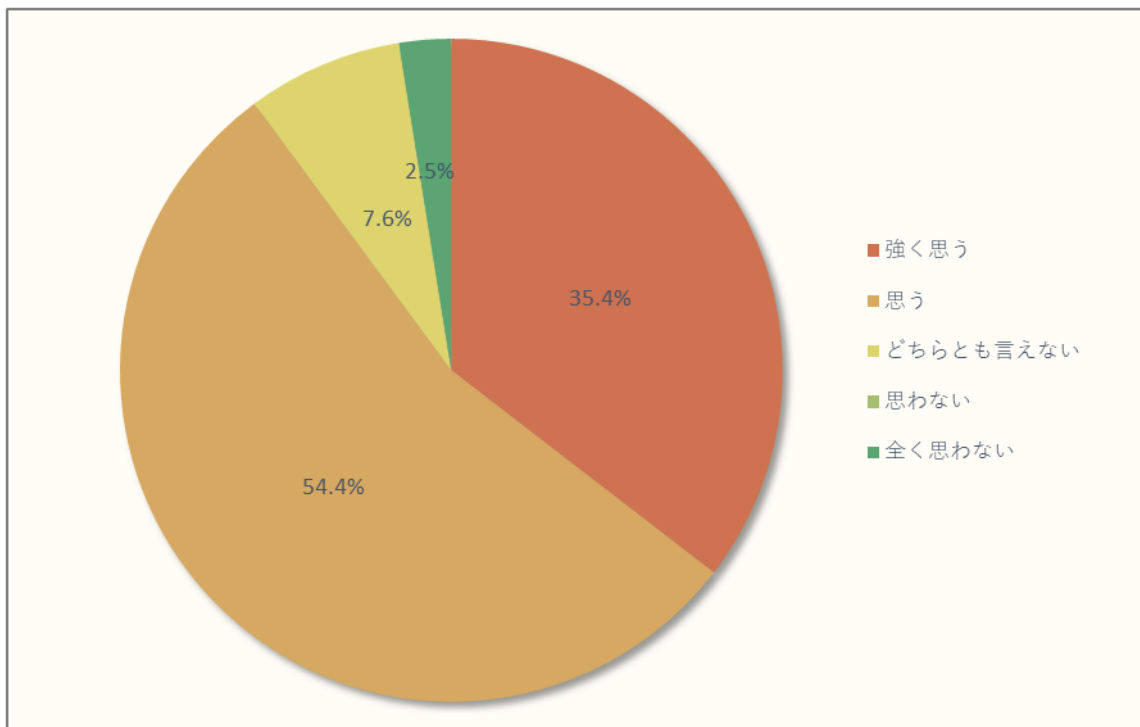
3. 専門とする科学分野において、英語で書かれた基礎的文献を読み、要点を理解し説明することができる。【大学 DP4】



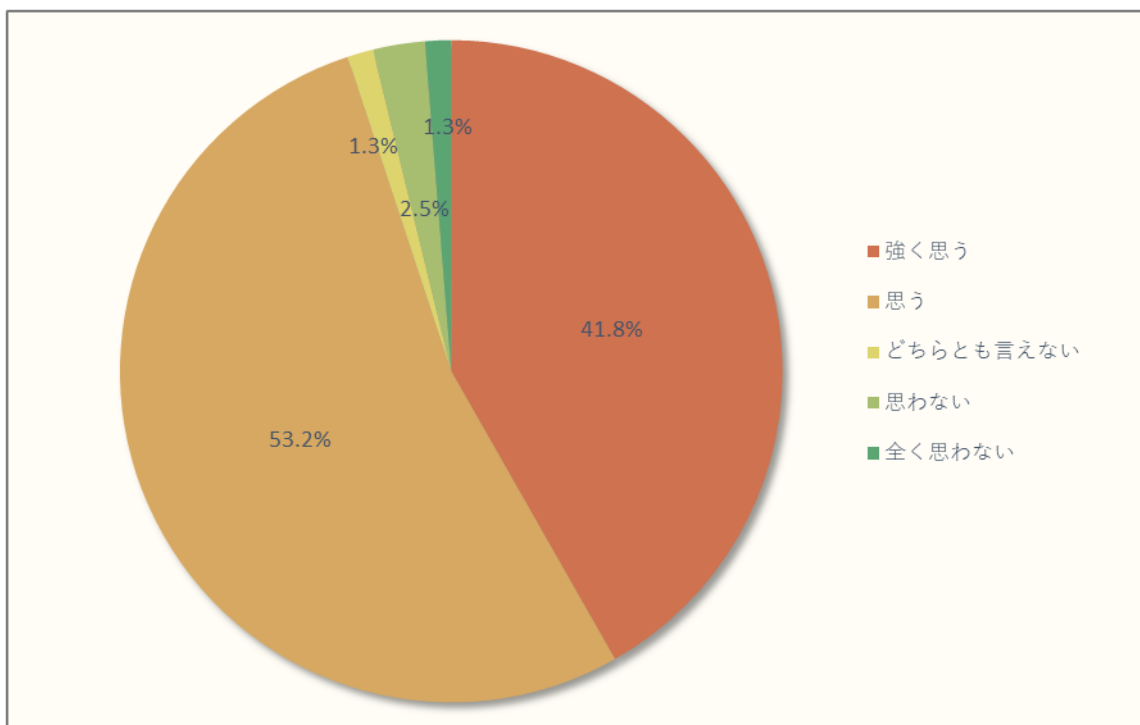
4. 他者と協力して実験や調査を行うことができ、その結果について他者と議論することができる。【大学 DP2・3】



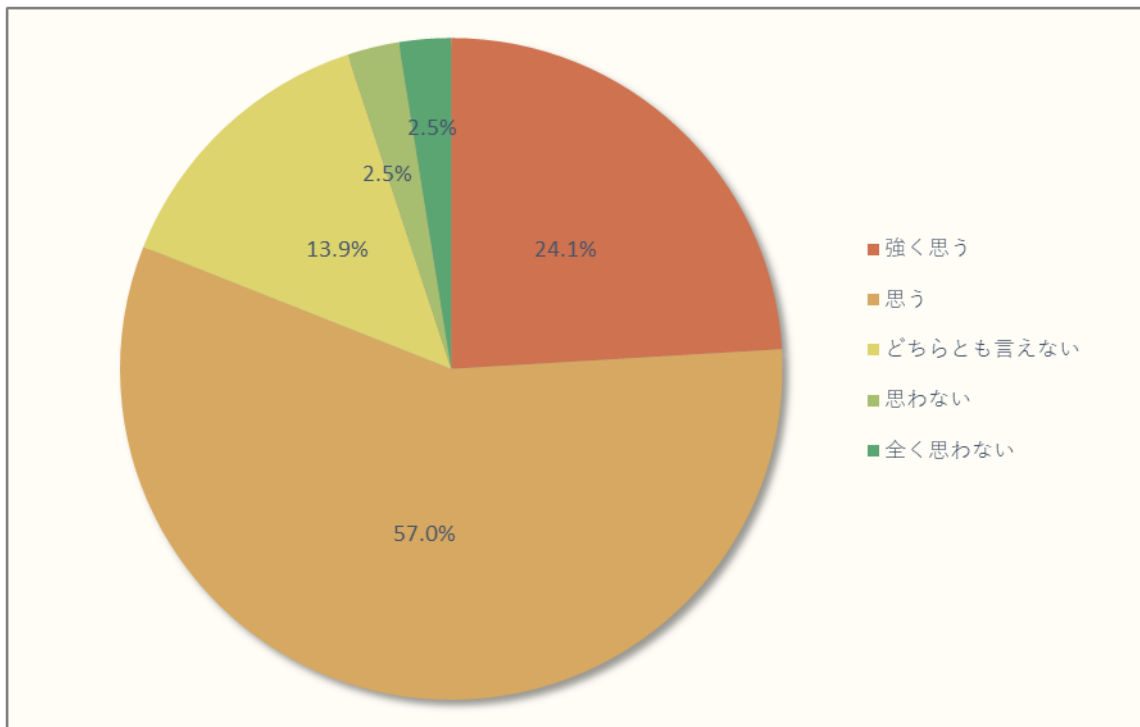
5. 実験の計画と実施を行い、実験から得られるデータを分析・整理してその実験の内容と結果の有意性を評価し、結論を導くことができる。【大学 DP2】



6. 実験の目的や方法、結果および考察について、図表や文章を用いて論理的に表現し、成果を口頭で発表することができる。【大学 DP2・4】

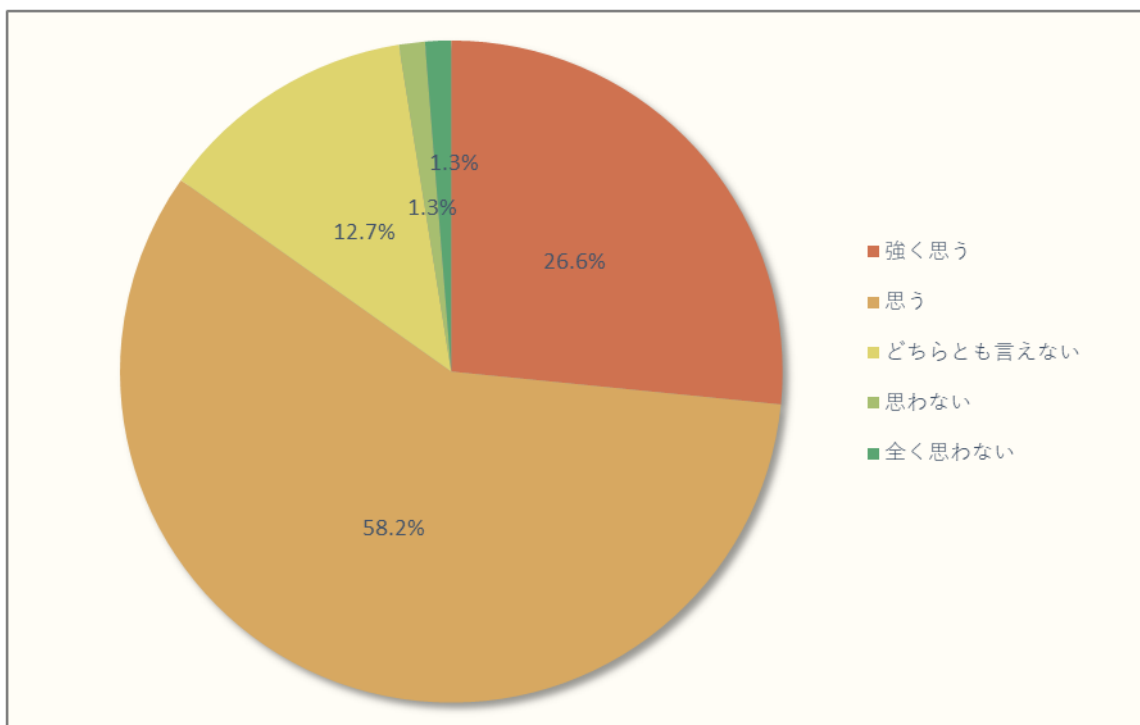


7. 現代社会の中での科学技術の役割を理解し、自然現象や社会への影響を論理的に考察し、科学的考え方に基づいて、社会に貢献できるよう自ら努力することができる。【大学 DP5】

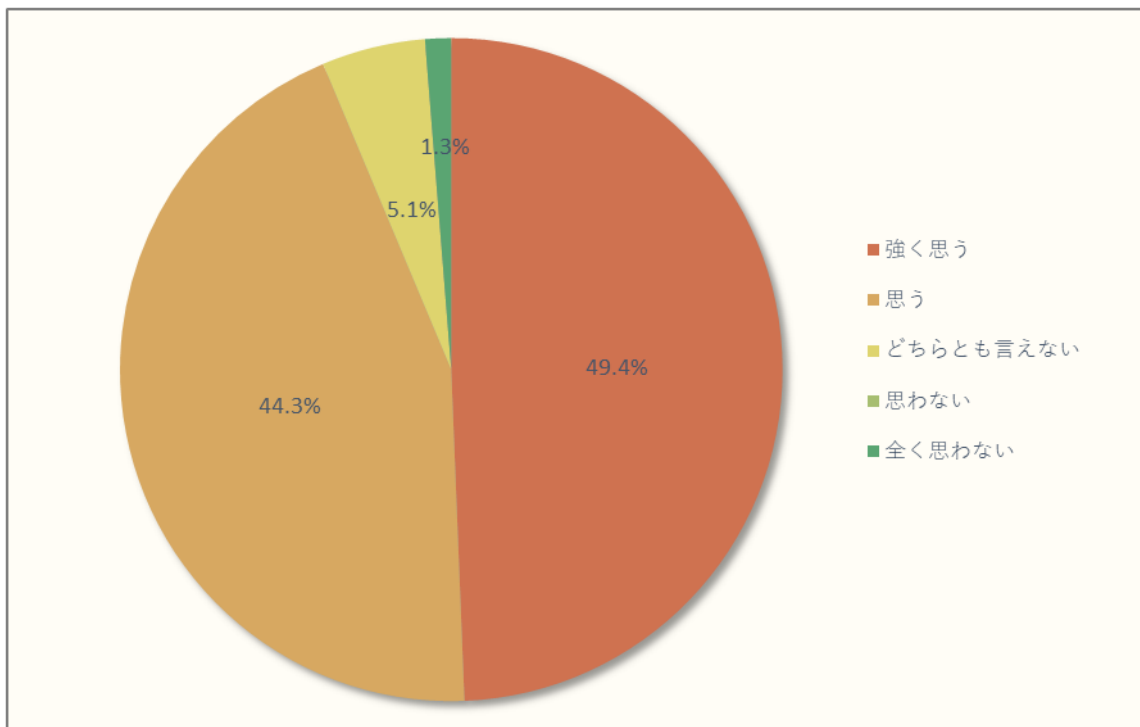


本学の学生として以下のことが身についたと思いますか？ 【教養特別講義DP】

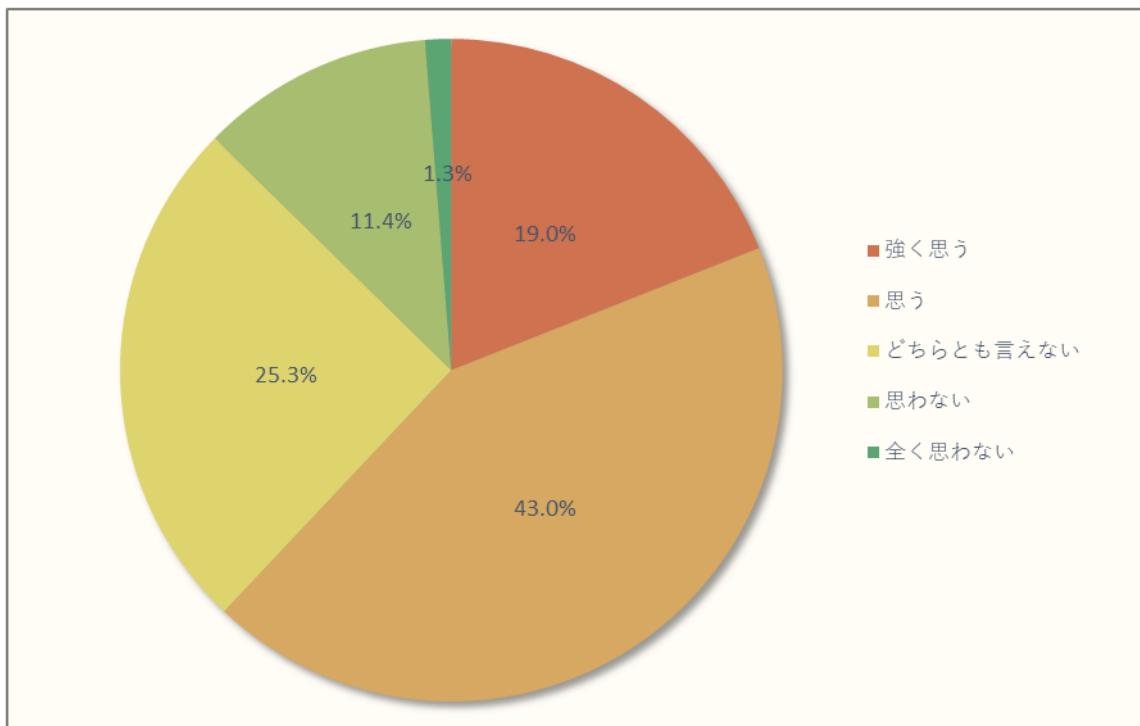
8. 本学の教育理念と建学の精神を理解し、自らの生き方や将来について主体的に考察を深め、自分らしい目標を立て、その目標の実現のために学び、行動していくことができる。【大学 DP3・DP5】



9. 本学卒業にあたっての満足度について伺います。
日本女子大学で学んで良かったと思いますか？

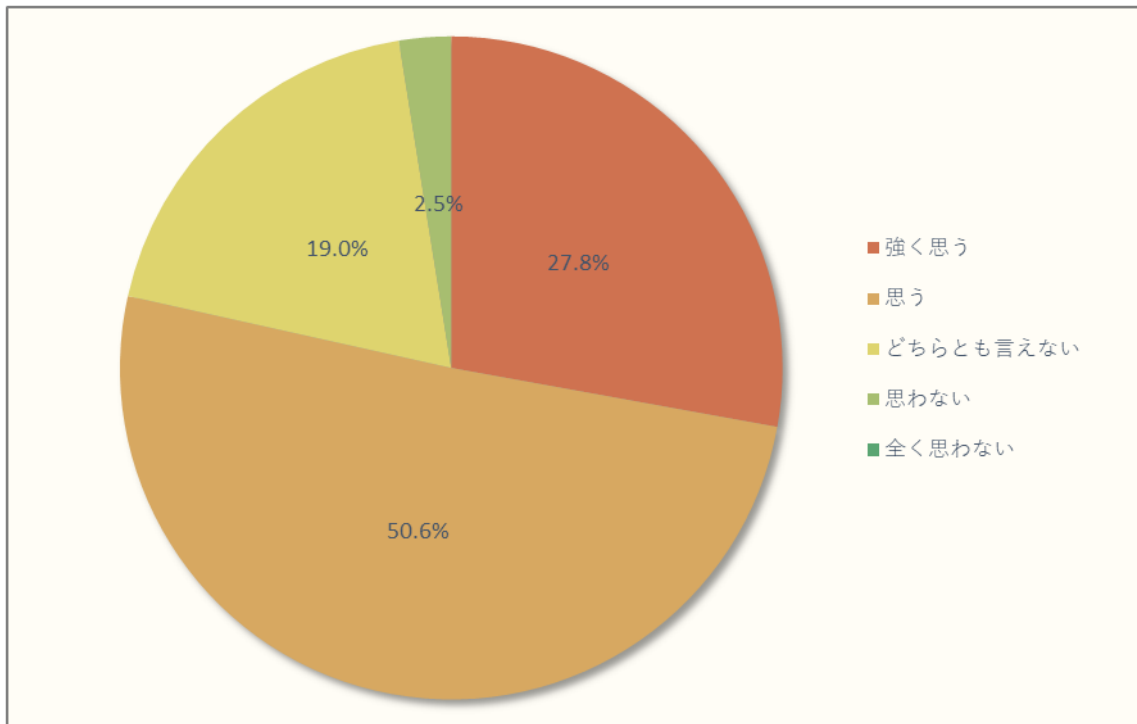


10. 本学の施設設備に対する満足度について伺います。
日本女子大学の施設設備に満足していますか？

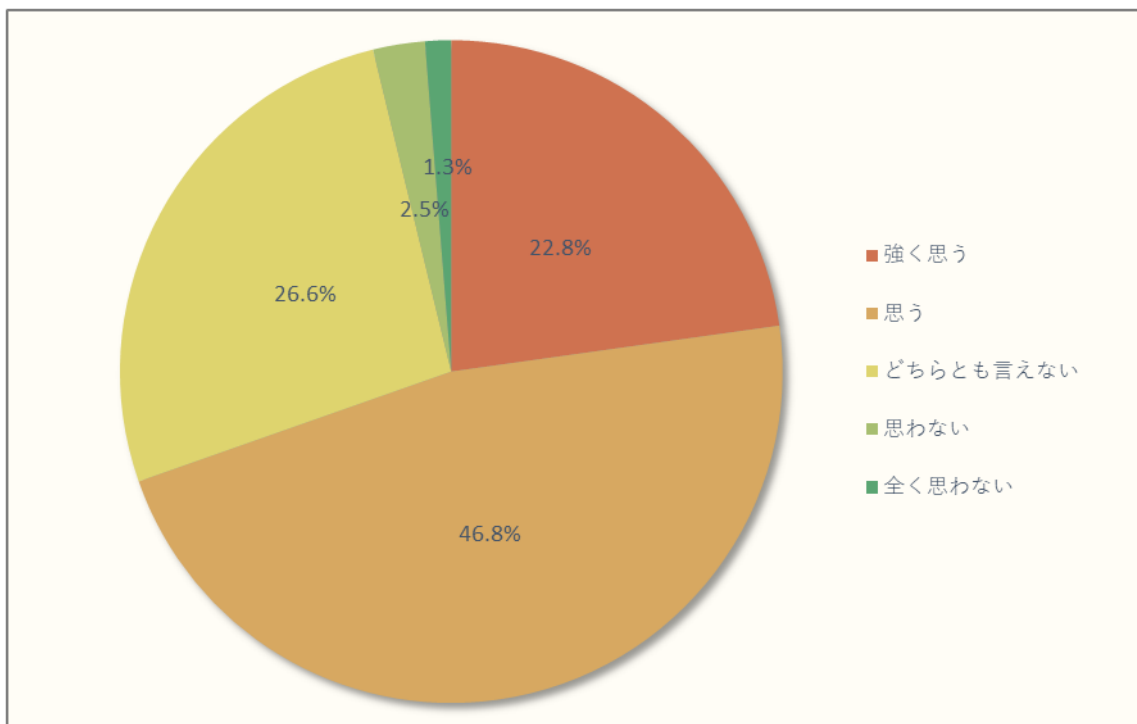


11. 学生生活に関する大学の支援体制は、あなたにとって適切だったと思いますか？

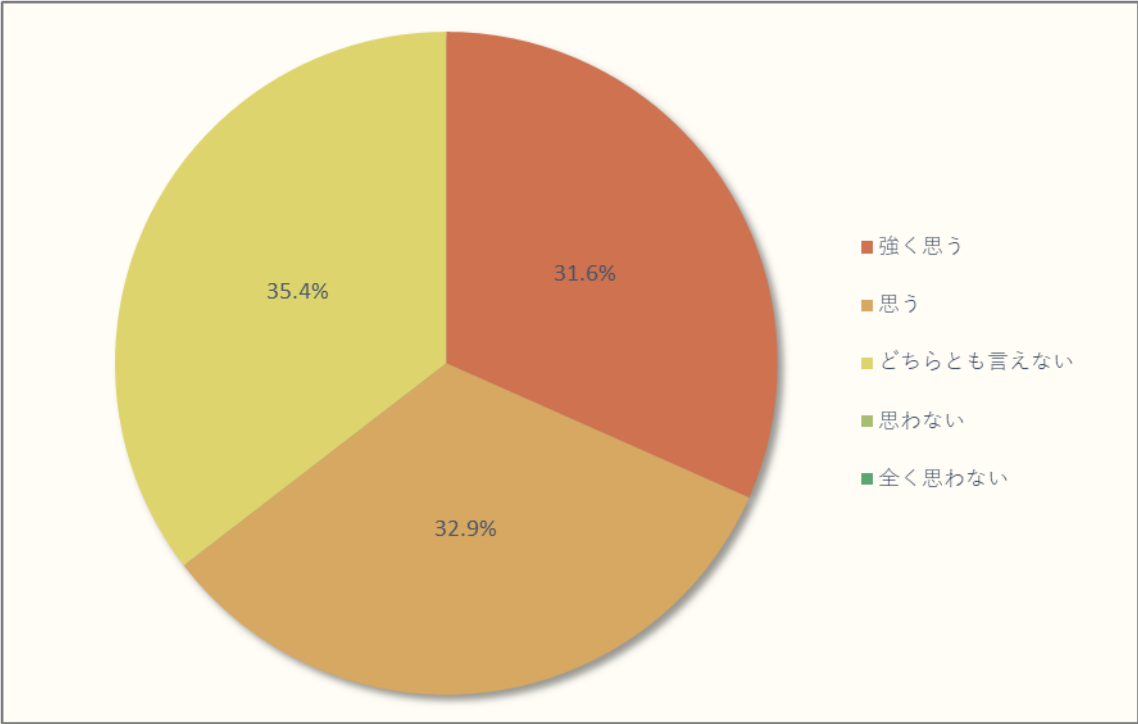
①-1. 学生生活に関する大学の修学支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



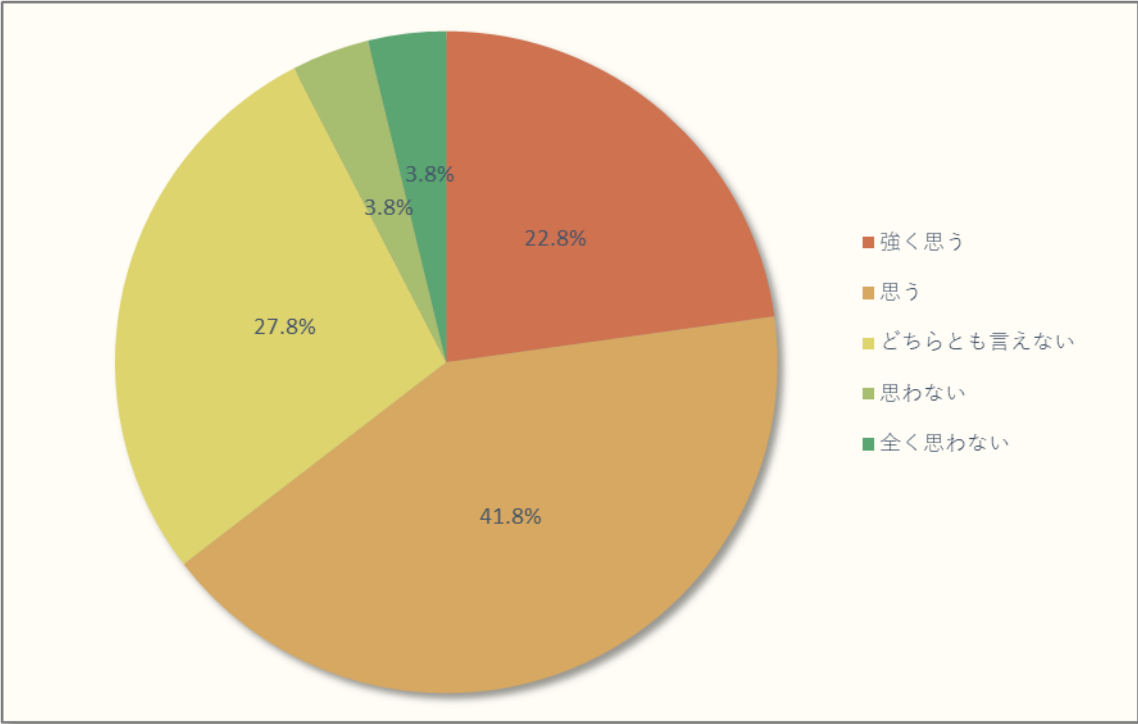
②-1. 学生生活に関する大学のキャリア支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



③-1. 学生生活に関する大学の生活支援（心身の健康相談等）は、あなたにとって適切だったと思いますか？



④-1. 学生生活に関する大学の課外活動支援は、あなたにとって適切だったと思いますか？



12. あなたが入学手続きをした入試形態を一つ選択してください。

